

## 令和3年度 学校評価実施報告書

学校番号 033 学校名 千葉県立船橋法典高等学校 課程名 全日制

| 領域     | 自己評価の結果<br>(達成状況、結果の分析)  | 改善方策<br>(自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)  |
|--------|--|---|
| 学校経営   | <p>①学校ホームページは、50回以上の更新があり、部活動での活躍や学校行事の様子等を伝えることができた。更新回数は、昨年度の約30回を上回った。</p> <p>②学校における働き方改革を推進するために、個人ごとにノー残業デーを設定して取り組んだ。前年度11月の勤務時間外の在校等時間は、平均37時間49分だったが、今年度の11月は、平均33時間28分となり、4時間21分短縮された。</p> | <p>①感染症拡大防止対策のため、保護者等が来校する機会が減っていることから、日頃の学校生活の様子などについても、積極的に情報発信していく。</p> <p>②学校評価アンケート(職員)の結果によれば、働き方改革に積極的に取り組んでいると肯定的に回答した割合が47.7%と半数に満たない状況にあり、職員が働き方改革の効果を実感できていない。更なる業務改善と意識改が必要である。</p>               |
| 学習指導   | <p>①学校評価アンケート(生徒)によれば、「きちんと学習活動に取り組んでいる」と肯定的な回答をした生徒が90.7%、「授業内容が理解できている」が同81.5%と、いずれも直近5年間の調査結果のなかで、最高値となった。</p> <p>②6月と11月に授業参観を実施した。授業の様子や学校の取組に対し、保護者からは好意的な意見が寄せられた。</p>                        | <p>①授業や課題に取り組む態度は良好であり、落ち着いた雰囲気の中で学習することができている。学校評価アンケートにおいて、「学力は向上しつつある」と肯定的に回答した生徒が66.1%と昨年度より2.2ポイント上昇したが、家庭での学習習慣を付けることなどを目標にして取り組んでいく。</p> <p>②保護者等が授業を参観した保護者へのアンケート項目を充実させるなど、より幅広い意見が得られるようにしていく。</p> |
| 生徒指導   | <p>①個人面談を4月と9月に実施した。9月は分散登校が行われたため、面談期間を延長して時間を確保した。気になる生徒等については教育相談委員会で情報を共有し、スクールカウンセラーや養護教諭と連携して対応することができた。</p> <p>②いじめ防止を目的とした調査を学期ごと計3回実施した(報告時点では、2回実施済み)が、いじめを訴える記載はなかった。</p>                 | <p>①生徒への声掛けや日頃の様子を観察することで気づいた生徒の変化を、教育相談委員会等で共有し、組織的にフォローアップができる体制を維持していく。</p> <p>②引き続き、いじめが発生しない安全・安心な学校づくりを心がけ、職員が一丸となっていじめを許さない雰囲気づくりに取り組んでいく。</p>   |
| キャリア教育 | <p>年度の初めから、継続的に公務員対策講座を開いて指導を行ったところ、希望者6名全員が公務員試験に合格した。また、11月には、1、2年生を対象に、約30の大学や専門学校を招いて進路ガイダンスを開催した。さらに、2月には、進路決定した3年生を招いて、放送による合格体験報告を実施した。</p>   | <p>引き続き、生徒一人一人のニーズに応じたきめの細かい進路指導を行うことで、生徒、保護者の期待に応えていく。</p>   |
| 特別活動   | <p>①感染症拡大防止の観点から、学校行事については開催方法や開催規模の見直しを行いつつ、可能な限り実施するようにしたところ、学校評価アンケート(生徒)の設問「学校行事は充実している」への肯定的な回答が73.1%と、昨年度と比較して12ポイント上昇した。</p> <p>②部活動の加入率が、昨年度の69%から、今年度は67%に減少した。</p>                         | <p>①学校行事については安易に中止にすることなく、感染防止対策を徹底しながら生徒の安全を第一に考え、可能な範囲で実施していく。</p> <p>②本校部活動の活躍を幅広く宣伝するなどしてその魅力を伝えるとともに、部活動の活性化を図り、学習だけでなく部活動にも熱心に取り組もうとする生徒の育成に努める。</p>  |

(第3号様式-2)

|  |                                  |
|--|----------------------------------|
| 自己評価・学校関係者評価・今後の改善方策の公表について、時期や公表方法を明確に記入する。 | 学校ホームページにおいて、学校評価実施報告書を3月中に公開する。 |
|--|----------------------------------|

※アンケート結果を集計して公表することで、学校評価の結果を公表したとみなすことは適当ではない。

| 領域     | 学校関係者評価の結果   | 学校評価のまとめ<br>(課題と次年度に向けた改善策)   |
|--------|--|---|
| 学校経営   | <p>①学校ホームページの更新回数を増やしたところ、学校評価アンケート(保護者)の設問「ホームページや学校だより等で学校の様子がよく伝えられている」に肯定的に回答した割合が72.1%と、昨年度と比較して3.9ポイント上昇した。</p> <p>②何ができるのかを生徒自身が考えて、生徒主導で取り組めるようにしていくと良い。先生の仕事が増えてはいけない。</p>  | <p>①学校ホームページで、学校行事の様子や部活動等での生徒の活躍を紹介するなどして、学校の教育活動への理解を深めてもらえるよう、内容の充実に努める。</p> <p>②学校や教員の仕事を見直し、業務改善を進めていくとともに、職員が連携して業務にあたることで負担感を減らしていく。</p>   |
| 学習指導   | <p>10年前に比べれば、かなり生徒が落ち着いている。真剣に授業を受けていた。学力を伸ばし、進路目標も変えていき、次の目標に向かって取り組んでいるということは、先生方が努力されているのだと感じた。</p> <p>学校評価アンケート(保護者)によれば、設問「きちんと学習活動に取り組んでいる」に肯定的に回答した割合は87.3%で、昨年度と比較して0.8ポイント増加した。</p>   | <p>ICT機器を有効活用することで授業への興味関心を高めるとともに、感染症対策を講じながら意見交換や学び合いの場を充実させ、主体的に授業に取り組めるように改善を進める。このような授業改善を通して、「きちんと学数活動に取り組んでいる」、「授業内容が理解できている」といった設問に対し、肯定的に回答する生徒の割合を増加させる。</p>  |
| 生徒指導   | <p>①スクールカウンセラーへの1、2学期の相談延べ人数が、昨年度は79名だったところ、今年度は86名となり、連携をとりながら対応できるケースが増えた。また、学校評価アンケート(保護者)によれば、設問「生徒の相談に親身になって応じてくれている」に肯定的に回答した割合が82.6%で、昨年度から0.8ポイント上昇した。</p> <p>②学校評価アンケート(保護者)によれば、設問「一人一人を大切にされた指導がなされている」に肯定的に回答した割合が77.7%で、昨年度から0.4ポイント上昇した。</p> | <p>①教育相談委員会を有効に機能させ、組織的に生徒支援が行える体制を維持していくとともに、スクールカウンセラーや養護教諭、保護者等とも連携を深めることで、多面的なフォローアップができるよう指導体制の充実を図っていく。</p> <p>②生徒一人一人に対して、丁寧な対応を心がけ、学校評価アンケート(職員)の設問「生徒の相談に親身になって応じている」への肯定的な回答の割合が、3年連続100%となるよう、取り組んでいく。</p> |
| キャリア教育 | <p>学校評価アンケート(生徒)によれば、「役立つ進路情報が十分に提供されている」の設問に肯定的に回答している割合は85.2%と、直近5年間で最高値となった。</p>  | <p>多様な進路に関する情報を幅広く提供するとともに、ガイダンス等で学んだことを振り返る機会を充実させることで、職業選択時のミスマッチを避け、よりよい人生につながるよう、きめの細かい進路指導に取り組んでいく。</p>  |
| 特別活動   | <p>生徒が主体となって、自分自身ができると思う場面に積極的に参加していくことで、アンケートの「学校行事」や「入学してよかった」の数値が上がっていくとよい。</p> <p>学校評価アンケート(生徒)によれば、設問「入学してよかったと思う」に肯定的に回答した割合は80.5%で、直近5年間で最高値となった。</p>   | <p>学校内でクラスタを発生させることなく、教育活動を実施することができた。引き続き、十分な感染症対策を講じた上で、学校行事の充実に努めていく。</p>  |